

第2学年 英語科学習指導案

令和4年10月7日(金)

第5校時 13:30~14:20

2年 1組 37名

指導者 山本 和史

1. 単元名 自分が将来働く上で大切にしたいことについて考えよう
(『Sunshine2』(開隆堂出版) PROGRAM 5 「Work Experience」)

2. 単元について

(1) 教材について

- 本単元では、ダニエル、真央、健の3人が、職場体験で体験したことや学んだことについて話をしたり発表したりする内容である。自分たちの職場体験と重ね合わせながら登場人物が話をしたり発表したりする内容を読み取ることによって、将来働く上で大切にしたいことなど、自分の職業観を考える機会とすることができる教材である。
- 言語材料は、「疑問詞+to do」、「look+形容詞/become+名詞[形容詞]」、「第4文型」である。

(2) 生徒について

- 本単元で生徒に付けさせたい力は「読む力」である。
- 今年度の大分県学力状況調査結果から領域別の定着状況を見てみると、「聞くこと」及び「書くこと」の領域では、目標値に到達している問題がある。一方で「読むこと」においては、目標値に達していない問題が他の領域と比較して多いことが分かった。特に「チラシの概要を理解することができる」問題では、目標値より7.1ポイント下回る結果であった。このことから「読む」技能については、「英文の概要を理解する」力の育成が課題である。
- 英語科独自の「生徒アンケート」結果によると、「英語が好き・わかる」の項目で肯定的回答した生徒の割合は、1年73.5%、2年52.0%、3年70.3%であり、指標としている80%に本学年は達していない状況である。

(3) 指導について

- 「読むこと」の「英文の概要を理解することができる」力の育成を目指して、以下3つの指導を中心に単元を通して行う。
 - ① 英語学習アプリ E4S を用いて、読む力の基礎となる語彙力を習得させる。週に2~3回、朝自習の時間を使い、英検5級~4級レベルの語彙問題に取り組む。週に1度はテストモードで出題し、取組状況を把握した上で生徒へフィードバックする。
 - ② 英語学習アプリ E4S の5級リーディング問題に取り組む、様々な長文の概要を捉える力を育成する。毎日1問ずつ英検5級レベルの様々な長文問題に取り組む、初見の英文でも概要を捉えることができるようにする。週に1度はテストモードで出題し、取組状況を把握した上で生徒へフィードバックする。
 - ③ 技能を統合した言語活動を行い、情報をもとに自分の考えを伝え合う力を育成する。具体的には、読み取った内容をもとに、自分の考えを伝え合ったり、書いたりする言語活動を設定する。単元終了後には、パフォーマンステストや振り返り用紙で生徒の学習状況を評価する。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 自分がなりたい(興味がある)職業で活躍している人物の概要について発表します。
⇒ 目的意識・場面設定② 聞き手にわかりやすいように、キーワード及び5W1Hを意識して概要を説明しましょう。
⇒ 相手意識③ 最後に憧れの人物から学んだことを伝えましょう。
⇒ 自分の考え・思い |
|--|

3 単元の目標

職場体験について書かれた会話やスピーチ文を、5W1Hの視点で整理することを通して、文章の概要を捉えることができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
------	--

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> 「第4文型」等の文の特徴やきまりを理解している。 <技能> 「第4文型」等を活用して職場体験について書かれた文の内容を読み取る技能を身に付けている。	キーワード及び5W1Hの視点で憧れの人物について発表するために、職場体験について書かれた会話やスピーチ文を読んで概要を捉えている。	キーワード及び5W1Hの視点で憧れの人物について発表するために、職場体験について書かれた会話やスピーチ文を読んで概要を捉えようとしている。

4. 単元計画（7時間扱い）

時間	学習活動	評価の観点		
		知	思	主
1	○単元の最後に、自分がなりたい職業で活躍している人物について、英語で発表することを伝える。 ○「ダイヤモンドランキング」で、自分が働く上で大切にしたいことをランク付けする。 ○「疑問詞+to do」の表現の仕方を理解する。	○		
2	○「look+形容詞/become+名詞 [形容詞]」の文の特徴や決まりを理解する。 ○「第4文型」の文の特徴や決まりを理解する。	○		
3	○ダニエルの職場体験についての会話文を読んで、キーワードを5W1Hの視点で整理することを通して、会話文の概要を捉える。		○	
4	○ダニエルの職場体験の概要を、キーワード及び5W1Hの視点で整理することを通して、まとまりのある文で書く。 ○本文の概要を踏まえて、本文にタイトルをつける。		○	
5 本 時	○真央または健の職場体験発表文について、ペアでどちらか選択させキーワード及び5W1Hの視点で文章に書いて友だちに伝える活動を通して、概要を捉える ○本文の概要を踏まえ、本文にタイトルをつける。		◎	◎
6	○自分の価値観を具現化している人物の概要を、キーワード及び5W1Hの視点で情報を整理することを通して、まとまりのある文で書く。 ○これまでの学習を振り返り、「ダイヤモンドランキング」を再度行う。		○	
7	○自分の価値観を具現化している人物について、キーワード及び5W1Hの視点で文章化することを通して、友だちに紹介する。		○	
後日	単元テスト	◎	◎	◎

5. 本時案

2年 1組	教科	英語	指導者	山本 和史
単元名	自分が将来働く上で大切にしたいことについて考えよう。 (Program 5 Work Experience)		時	5 / 全7時間
ね ら い	<p>A 真央または健の職場体験発表文について、</p> <p>B ペアでどちらか選択させキーワード及び5W1Hの視点で文章に書き友だちに伝える活動を通して、</p> <p>C 概要を捉えることができるようにする。</p>			
評価	【評価規準】 職場体験についての発表文を読んで文章に書き友だちに伝えることを通して、概要を捉えている。			
	【観点】 思考・判断・表現	【評価方法】 記述分析		
展開	<p>○あいさつをする（全体とペア）</p> <p>○English 4 Skills を使って英検5級レベルの長文読解1問に取り組みさせる。（課題配信）</p> <p>○前時の振り返りを行うとともに、ALT が概要文を発表しデモンストレーションを行う。</p> <p>○本時のめあてを全体で確認させる。</p>			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】自分が選んだ職場体験の発表文の概要を友だちに伝えよう。</p> </div> <p>○ペアで「真央」もしくは「健」のどちらかを選んで、職場体験の概要を相手に伝えるという本時のめあてを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアにさせ、「真央」または「健」のどちらかの概要を担当するか決めさせる。 <p>○各自キーワード及び5W1Hの視点で、文章を読ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要を捉えることを優先し、新出単語等の意味はあらかじめプリントにして渡す。 <p>○キーワード及び5W1Hの視点で、まとまりのある文で書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT はキーワードを見つけた生徒に5W1Hの視点で質問しながら文章化をサポートする。 ・前時で書いたダニエルの概要文を参考にさせる。 <p>★個別の支援：「ぶらぶらタイム」で自分と同じ人物についての概要を書いている友だちを見つけ、教え合いをさせる。</p> <p>○書いた文をペアで発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手は、「5W1H」の視点が相手にわかりやすいように伝える。 ・聞き手は、相手の発表を聞きながら、キーワードをワークシートに書き取らせる。 <p>○ペアで話し合わせ「真央」と「健」の本文にどんなタイトルをつけるか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイノートで提出させ、いくつか紹介する。 <p>○本時の振り返りを2つの視点でさせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の話した「概要」がペアの相手に伝わったか。 ②相手の話す英語を聞いて、「概要」を捉えることができたか。 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振り返り】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本文の概要をキーワード及び「5W1H」の視点でペアにわかりやすく伝えることができた。 ②ペアの話す英語を聞いて、真央（健）の職場体験の概要がわかった。 </div>				